

# 茨城県女性活躍推進計画(第2次) 目標達成に向けた進捗状況(令和3年度～令和7年度)

1 女性の職業生活における活躍を推進するための支援措置												
番号	指標項目 【所管課】	単位	現状値(A) R1(2019)実績 (*はそれ以外)	実績							目標値(B) R7(2025)年度 (*はそれ以外)	令和4年度までの達成状況及び今後の方針について
				(参考) R2 (2020) 年度	R3 (2021) 年度	R4 (2022) 年度	R5 (2023) 年度	R6 (2024) 年度	R7 (2025) 年度			
1	県審議会等における女性委員の割合 【女性活躍・県民協働課】	%	実績値	34.8	37.5	40.2	42.6				* 50.0	審議会等の所管課に対し、女性委員参画促進依頼や委員改選時における女性活躍・県民協働課との事前協議の徹底を図るとともに、女性委員の割合が特に低い審議会の所管課に対して個別にヒアリングを行うなどの働きかけを行ったところ、前年度より2.4%増の42.6%となった。今後も引き続き、事前協議の徹底や個別相談対応等を行い、女性委員の積極的な登用の推進を図っていく。
			期待値			40.0	42.5	45.0	47.5	50.0		
			達成率			103.8%	101.3%	-	-	-		
			評価			A	A	-	-	-		
2	本県の1時間当たりの労働生産性 【労働政策課】	円	実績値	* 5,219	5,219	5,549					5,740	働き方改革優良企業の優良事例を、ポータルサイトやメルマガ、セミナーの開催などを通じ広く県内企業へ普及啓発等を行ったことにより、本県の令和3年度の労働生産性は前年の5,219円から330円増加し5,549円となった。今後は、県内経済団体や業界団体等と連携しながら、説明会等での支援策の紹介や県内企業の優良事例等について情報発信を強化し、県内企業の働き方改革の取り組みを促進していく。
			期待値	(R2)		5,323	5,427	5,532	5,636	5,740		
			達成率			317.3%	-	-	-	-		
			評価			A	-	-	-	-		

2 職業生活と家庭生活との両立を図るために必要な環境整備												
3	県内企業の1か月あたり所定外労働時間数(暦年) 【労働政策課】	時間	実績値	11.4	10.8	10.5	10.8				8.5	働き方改革優良企業の優良事例を、ポータルサイトやメルマガ、セミナーの開催などを通じ広く県内企業へ普及啓発等を行ったが、新型コロナウイルス感染症の経済活動への影響が限定的になったこと等により、本県の令和4年度の所定外労働時間数は前年から0.3時間増加し10.8時間となった。今後は、所定外労働時間数の多い建設業及び運輸業に重点を置き、県内経済団体や業界団体等と連携しながら、説明会等での支援策の紹介や県内企業の優良事例等について情報発信を強化し、県内企業の働き方改革の取り組みを促進していく。
			期待値			10.34	9.88	9.42	8.96	8.50		
			達成率			84.9%	39.5%	-	-	-		
			評価			B+	C	-	-	-		
4	保育所等の待機児童数(4月1日現在) 【子ども未来課】	人	実績値	* 193	193	13	8				0	保育所等の整備による定員増及び修学資金貸付や保育人材バンクによる保育人材の確保など保育の受け皿の拡大によって、待機児童はR4までに大幅に減少し、保育所の不足により入所の希望が叶わない待機児童は、実質ゼロとなっている。今後は、将来的な少子化による需要減の到来を見据える必要があるため、家庭的保育等の小規模保育整備の促進など、大規模な施設整備に依らない保育の受け皿整備に移行していくとともに、「いばらき保育人材バンク」等の活用による保育人材の確保に努めていく。
			期待値	(R2.4.1)		0	0	0	0	0		
			達成率			93.3%	95.9%	-	-	-		
			評価			B+	B+	-	-	-		

【達成率】(実績値－現状値)÷(期待値－現状値)により算出された達成率を、%により記載  
 【評価】 A :達成率 100%以上 C :達成率 50%未満  
 B+ :達成率 80～99% - :最新データ未調査  
 B :達成率 50～79%